



令和5年11月10日

各位

会社名 日本基礎技術株式会社  
代表者名 取締役社長 中原 巖  
(コード番号 1914 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役執行役員 事務管理本部長 田中 邦彦  
(TEL 03-5365-2500)

## 第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、令和5年5月12日に公表しました令和6年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想との差異

令和6年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の差異(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり四 半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,800	百万円 250	百万円 400	百万円 60	円 銭 3.00
実績値(B)	10,640	423	649	416	20.79
増減額(B-A)	△160	173	249	356	—
増減率(%)	△1.5%	69.5%	62.3%	593.8%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和5年3月期第2四半期)	11,363	251	498	284	13.48

令和6年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の差異(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 420	百万円 170	円 銭 8.49
実績値(B)	9,288	740	409	20.46
増減額(B-A)	288	320	239	—
増減率(%)	3.2%	76.4%	141.0%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和5年3月期第2四半期)	10,514	800	383	18.20

### 2. 差異理由

#### (第2四半期累計期間の個別業績)

都市部での大型機械施工および鉄道関連工事が堅調に進捗した結果、経常利益が前回予想から320百万円の増加となりました。

四半期純利益は、特別損失に係る会社株式評価損119百万円を計上したものの、前回予想から239百万円の増加となりました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去

されるため、連結業績への影響はありません。

#### **(第2四半期累計期間の連結業績)**

上記個別業績の差異および、米国現地法人において、LNG 精製プラント基地の地盤改良試験施工に着手したことから、営業損失が前回予想を下回り、グループ全体としては、前回予想から売上高は 160 百万円減少したものの、営業利益で 173 百万円、経常利益で 249 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で 356 百万円それぞれ増加しました。

#### **3. 通期業績予想**

令和6年3月期の通期業績予想につきましては、令和5年5月12日に公表しております予想数値から変更はありません。

以 上